



安来を訪れる外国人増加中

訪日する外国人が増えています。2012年に年間800万人程だったのが、2016年に2千4百万人を超え、政府はオリンピックが開かれる2020年に4千万人を目指しています。安来でも来訪する外国人が激増。足立美術館の外国人数は2013年が1万3767人、2017年は3万1658人と約2.3倍、安来節演芸館、清水寺



JNTO 認定観光案内所に 安来市観光協会

なども2013年に比べ3倍近く外国人が増えました。

安来市観光協会の安部浩巳事務局長は、「安来に来られる外国人の目的の多くは日本文化に触れることです。近年、特に台湾、中国、韓国などアジア系の人が多く来訪されており、市内で宿泊される外国人も年々増えています」と話します。

誠意あるおもてなしで

昨年12月、安来駅隣接の安来市観光協会が、日本政府観光協会（JNTO）から外国人観光案内所の認定を受けました。市内では足立美術館に次いで2例目。立地、施設設備、開所日数、提供サービスのほか、職員の多言語対応などの要件を満たしたとの認定です。

安部局長は、「認定は政府にお墨付きをいただいたという。外国人に安心して利用してもらえ」と認定の意義を強調します。

安来に来る外国人の多くは電車や安来駅まで来て、シャトルバスで足立美術館へ向かいます。その待ち時間に案内所を訪れることが多く、認定後



▲観光交流プラザに設置してある外国人向けの安来の観光パンフレット。左から韓国語、英語、中国語。

の1月は45人が利用しました。

認定に併せて、館内の英語表記をより見やすいものに修正。また、英中韓仏の多言語対応のパンフレット設置のほか、窓口では3カ国語での対応も可能。大きな荷物で訪れる外国人などへの荷物預かりサービスも好評です。窓口で対応する小草里香さんは、「安来のことだけでなく、(外国人から質問の多い)山陰周辺の観光・交通情報も頭に入れるようにしています」と対応に工夫を凝らしています。

安部局長は、「安来には世界的に有名な足立美術館があります。この強みを生かして、外国人を『温泉』『安来節』『日本遺産』『清水寺』など安来が誇る日本らしい観光地へ誘導したい」と話します。

編集後記

安来市の人口と世帯数 H30. 1.31現在

人口合計 / 39,345人
(男:18,858人 女:20,487人)
世帯数 / 14,256世帯

▼1月下旬、安来庁舎から比田に。比田へ近づく度、刻々と雪深い景色に変わって行きました。道中、安来町では農作業に精を出す人を、比田では歩道で雪かきをする人を見かけました。同じ安来でも地域の特性や生活はさまざま。何事もその地域を知ることが第一です。(山)

▼仕事上、アルテピアに取材に行くことが多くなり、出演者に話を聞く機会があります。ある演奏者は「ステージ上は恐ろしかった」と発言。音響の良さから他人の楽器の音色が非常に良く聴こえ過ぎて、はじめは戸惑ったとのことでした。客席の音響は評価が高いのですが、ステージ上でも「楽器の奏」は最高のようです。(9)

- 資源保護のため、この広報紙は再生紙を使用しています。
- 広報紙にあなたの写真が載りましたら、差し上げますのでご連絡ください。
- 自治会宛の発送等につきましては、地域振興課(☎23-3067)までご連絡ください。

